

A 会場個別報告（11月28日(土)）

A-1 9:20～9:40 地域漁業の存続とコンフリクト：沖縄県本部町における終焉漁業と存続策
吉村健司

A-2 9:40～10:00 沿岸漁業の生産展開：三重県神島地区を事例として
今川 恵

A-3 10:00～10:20 法律に愛された海獣：法はジュゴンを守れるか
富塚 叙

A-4 10:20～10:40 野生生物による漁業被害救済に関する一考察：北海道えりも町を事例として
佐々木稔基・廣吉勝治

<休憩>

A-5 10:50～11:10 直接取引による水産物地域流通再編の取組み：イオンとJFしまねの
取組みを中心に
日高 健

A-6 11:10～11:30 高級淡水養殖魚介類の市場流通構造：江蘇凌家塘市場発展有限公司を事例として
陳 棟燕・常 清秀

A-7 11:30～11:50 漁協女性部における給食水産物販売活動の展開：八丈島の事例
村上陽子

A-8 11:50～12:10 八丈島女性部の加工販売の実態に関する研究
佐藤尚紀・馬場治

<昼休み・総会>

A-9 14:15～14:35 水産エコラベル制度の比較分析と今後の展望
田村典江

A-10 14:35～14:55 マグロ類の消費選好に関するコンジョイント分析
有路昌彦

A-11 14:55～15:15 市場価格の連動関係から見た国内マグロ流通構造に関する定量分析
高原淳志・有路昌彦

B 会場個別報告（11月28日(土)）

B-1 9:20～9:40 クロマグロ養殖業の経営動向：近畿大学奄美事業場を事例に
原田幸子・小野征一郎

B-2 9:40～10:00 水産練り製品市場を対象とした保存料の社会的効果：逆需要関数の
推定による定量分析
高原淳志・大石太郎・大南絢一・有路昌彦・北山雅也・本多純哉・荒井 祥

B-3 10:00～10:20 長崎地区における水産ねり製品加工業の構造分析
野中健・片岡千賀之

B-4 10:20～10:40 労働手段（漁船）の所有分散による中小資本制漁業の存立：大島(山口県萩市)の
中型まき網を事例として
板倉信明・甬喜本 憲

< 休憩 >

B-5 10:50～11:10 琵琶湖における水産物流通・加工の現状と課題
清板晃平・工藤貴史

B-6 11:10～11:30 三大内湾域におけるアサリ漁業の特性と振興方策の分析
松浦 勉

B-7 11:30～11:50 駿河湾地域におけるサクラエビ市場の再編動向
黄 騰正・宮澤晴彦

B-8 11:50～12:10 京都の「八モ料理」を支える韓国産八モの需給変化と今後の可能性
津國 実

< 昼休み・総会 >

B-9 14:15～14:35 大村湾におけるナマコ漁業管理の変遷にみる成果と課題
大坪遼太

B-10 14:35～14:55 水産物輸出拡大による産地の構造変化：青森県陸奥湾ナマコの对中国輸出を
事例として
耿 瑞